

Y I A 会員だより 2024 年 5 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第 233 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【5 月以降の活動予定他】

◎YIA 総会：5 月 12 日 13：00～

場所 吉野川市文化研修センター

◎バラのお花見（鴨島）：5 月 26 日バラのお花見

◎外国人お遍路ガイド講座：5 月 13 日 10:00～11:30

5 月 26 日 19:00～20:30

◆鴨島日本語教室のお花見

萩森 健治

日本語教室恒例の「お花見」を 3 月 31 日午後に行いました。当日は、13:30 に文化研修センターに集合し、日本語教室の 4 月以降の予定のお知らせと年間最多出席者の表彰式を終えてから、車に分乗して向麻山へお花見に行きました。



今年は 3 月 20 日ころまで寒い日が続いたため桜の開花が 1 週間ほど遅れる予想で、31 日にお花見ができるかどうか心配していました。2 日おきくらいに向麻山に行って開花状況を確認していましたが、25～27 日に急に暖くなり桜が一気に開花しました。

当日は風もなく絶好の花見日和。向麻山の麓に車を止め、山頂に向かう遊歩道をわくわくしながら歩きました。中腹の道路に出ると視界が開け、山全体が桜花爛



漫。参加者は、ベトナム、ラオス、カンボジア、タ

イ、ネパールからの受講生ら 6 人、講師 5 人、それに瀬尾会長を入れて 12 人でした。皆さんは、それぞれ自分の動画を撮ったり、グループで写真を撮ったりしてお花見を楽しみました。来年のお花見で

は、桜の下で食事したりしながら、みんなで歓談したいねと言いながら、名残惜しそうに帰路につきました。

なお、2023 年度後期の最多出席者賞はネパール出身のプラディーブさんとフィリピン出身の入口敏光さんです。プラディーブさんは、入会以来一度も休まず皆勤賞でした。



最多出席者の表彰

◆山川日本語教室のお花見

三原 敦子



4 月 7 日に平田先生の庭の見事なしだれ桜の下で花見をしました。参加者は日本語を学ぶカンボジア、ベトナム、中国からの受講生 5 人、講師 4 人に、平田さんのご主人とカンボジアの二人を送り迎えしてくれている工藤さん合計 11 人でした。

今年の桜の開花はなかなか予想がつかず、平田先生

の開花状況判断をもとに4月7日と決定。予想通り桜は満開。しだれ桜の中に入って写真を撮ったり、枝にそっと触れたり、花見を楽しみました。受講生の国では花見という習慣はなく、日本に来て初めて楽しんだ、桜の美しさに初めて気づいたという人が多かったようです。

昼食は平田さんご夫婦が作ってくれた焼きそばやお好み焼きを頂きました。その後マジックショー、コミカルなネタ晴らしに日本語が十分理解できない受講生も大笑い。笑顔の写真や動画をきっと母国の家族や友人に送るのかなあ、写真を見た家族も同じように日本の花見を楽しんでくれるかなあ、と思いながら彼らの様子を見ていました。山川公民館に受講生を送って帰る途中何度も「先生、桜、あ、あそこも、綺麗ですね」と。忙しい日常から少し離れ、日本の春に触れることができた一日でした。

◆和菓子とお茶会

平田 仁子

4月14日(日)山川日本語教室で和菓子作りとお茶会が開催されました。

インドネシア、ベトナム、中国の日本語受講生6名と日本語講師6名が茶道講師の佐藤眞由理さんとお弟子さんに指導していただき、和菓子作りやお茶のお点前を楽しみました。お茶会には、神戸から取材に来られた映画監督の白羽弥仁さんと脚本家の栄弥生さんも飛び入り参加し、参加者は16名でした。

桜をイメージした甘い和菓子は、なかなか形を作るのが大変ですが、みんなとても器用で一人ひとりの個性がよく表れ、とても美しくおいしそうに出来上がりました。

また、自分で点てたお茶の味は、少し苦いけどまろやかでおいしかったそうです。

縁あって日本に来た人たちに、少しでも日本の伝統文化や儀式を体験してもらい楽しい思い出を増やしてほしいと思っています。



◆お茶会の指導体験

佐藤 眞由理

日本の伝統文化である茶道とその茶道とは切っても切れない和菓子。わずか50gの世界に日本の季節や日

本人の心を表現しています。

今回、山川教室で外国人受講生の方々に、桜の花びらの形をした和菓子を作り、日頃飲むことのない抹茶を自分で点てるという体験をしていただきました。



NHK 大河ドラマに出てくる清少納言の枕草子にかき氷、のし餅。紫式部の源氏物語には亥の子餅、椿餅が登場します。和菓子も抹茶も長い歴史をもつ日本の文化です。どうか、どこかで抹茶や和菓子を召し上がる機会があれば、お茶碗の回し方、抹茶のいただき方、和菓子の召し上がり方を思い出して、勇気を出してトライしてみてください。

◆「外国人お遍路ガイド講座」の開講について

提案者 田村 実

最近、外国人の歩き遍路を良く見かけるようになってきたと思いませんか？ スペインのサンティアゴ巡礼道を訪れる人は昨年で約43万人。和歌山の熊野古道は、2011年に1,217人だったのが2018年には43,824人に(田辺市の外国人宿泊数)。両巡礼道を訪れた人々が次に四国遍路に興味を持ち、様々なSNSを通じて情報交換もしながら四国を訪れています。四国遍路世界遺産登録推進協議会が結成され、過去10年程の活動で暫定登録へ近づいているようです。

このような環境下で、地元で有志による外国人お遍路ガイド講座を開講し、お遍路、地元の事、徳島の事、四国の事を英語等で発信できるガイドの育成を目指したいと思います。



開講する講座の概要は以下のとおりです。

- ・日時：月2回開催、毎月第2月曜日 10:00-11:30、第4日曜日 19:00-20:30 随時に専門家の講話
- ・場所：鴨島公民館1F NPO 室
- ・費用：無料(資料代は実費)
- ・対象者：語学ボランティアガイドの活動に興味ある方(英語、中国語)
- ・参考資料：

阿波遍路 AWA HENRO、日/英、by AWA88, 1993
Shikoku Japan 88 Route Guide, Buyodo Co., Ltd.
Shikoku 88 Ohenro Pilgrimage, Facebook
生成 AI、ChatGPT の活用